

壁PC板の変形・ずれに追従する合成目地消しテープ

NONCRA®Aひび割れ補修構法 PAT

ひび割れヒラキ幅 1mm以上

樹脂塗装・左官仕上 PC・コンクリート・ALC板・モルタル

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライトビームシステム技術センター

TEL03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯TEL 090-4518-139

STEP 1. (別途) ひび割れ・目地消し部調査・記録

STEP 2. ひび割れ補修部切削 ~ 平滑研磨 ~ 清掃

ケース1 継目に盛上りがない場合：ダイヤモンドホリャー研磨 切削深さ：1.5~2mm 幅：80~90mm

ケース2 研磨して下地に凹凸が生じてしまった場合
 □コンクリート・モルタル面：“セメント接着増強・吸水調整材”塗 ~ “**ノンクラポリマーセメント**”塗仕上
 1回目：“NSハイフレックスHF1000”塗 塗幅：80~90mm 刷毛・ローラー 4倍希釈液
 配合比：NSハイフレックスHF1000 原液 1 + 清水 3
 2回目：外用用“**ノンクラポリマーセメント**”不陸調整塗仕上 塗幅：80~100mm **乾燥養生：1日以上**
 使用セメント：**ノンクラポリマーセメント**：特殊高分子アクリルテックス弾性セメント・無機
 配合比：粉体 5 (NSポリマーミックス#15) + 混和液 2 加水厳禁

STEP 3. テープ接着面下地 “**ノンクラプライマー#7 (ウレタン系)**”塗 幅：60~70mm 2インチ中毛ローラー使用
乾燥養生：30分以上

●注意・塗厚がないとテープが密着しにくい！

STEP 4. 免震伸縮接合テープ “NONCRA®A” ローラー圧着ステンレス鋼帯両耳 “ホットボンド” 留付固定

●注意・ステンレス鋼帯に残留歪シワを残さず、下地に圧着留付固定！
 ・ひび割れヒラキ幅5mm以上の場合は、「Uカットシーリング充填工法」と併用してください

STEP 5. テープ上 “NONCRA®弾性エポキシ”塗へらしごき取り ゴム・ジュラコヘラ 塗幅：テープ上全面
 2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%、ハジキ皆無 乾燥硬化：夏季：4時間以上 冬季1日
 ●警告：エポキシ樹脂が硬化前に次工程に移るな。乾燥跡仕上面にカメノコ亀裂が入ってしまう

STEP 6. エポキシ塗付面 “モルタル接着増強材”塗 ~ “**ノンクラポリマーセメント**”塗 乾燥養生：1日以上

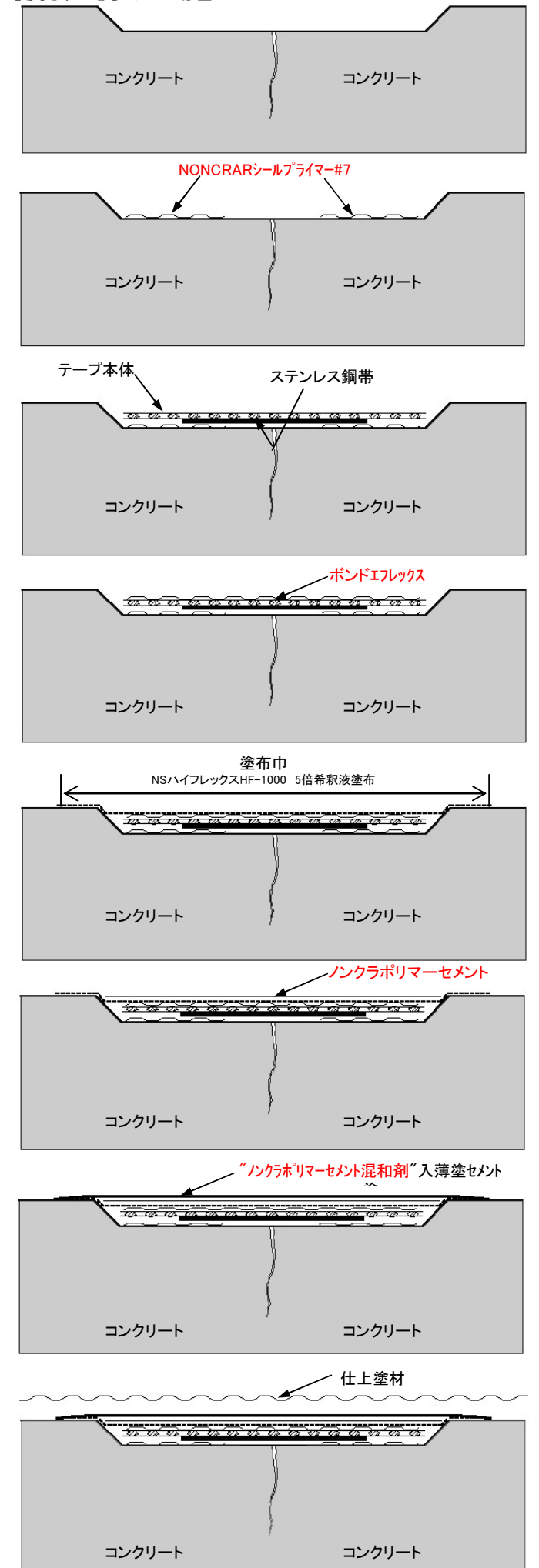
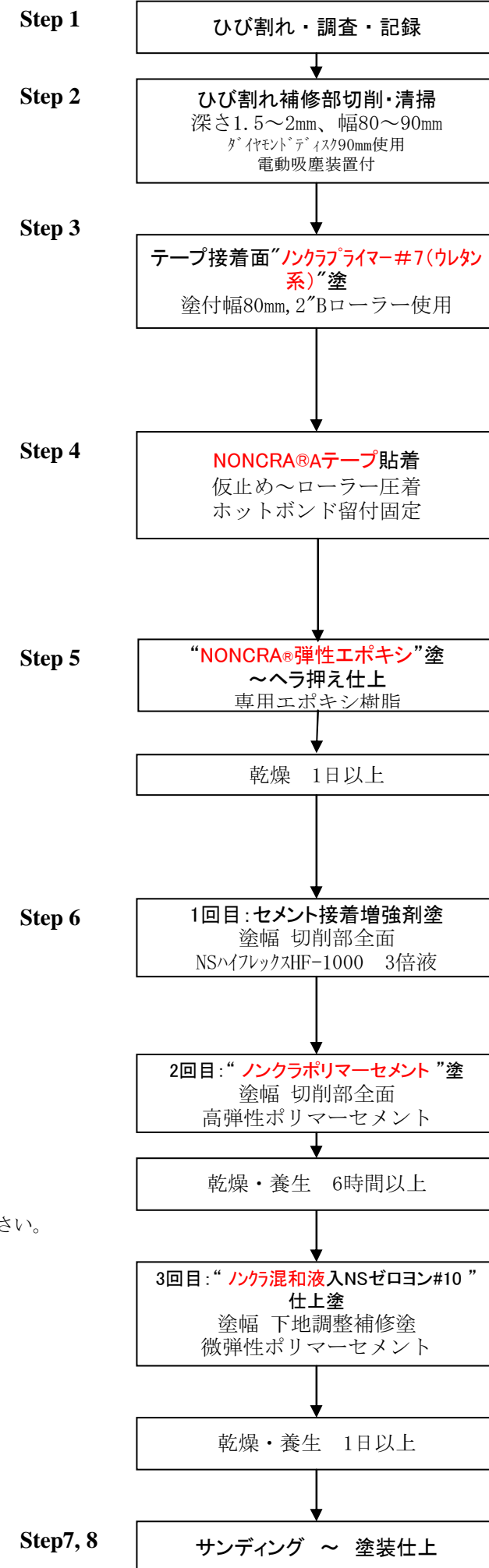
1回目：NSハイフレックスHF1000 5倍希釈塗布 塗幅：200~250mm
 2回目：**ノンクラポリマーセメント**塗：外用用無機 鏝・ゴムヘラ使用
 粉体5kg (NSポリマーミックス#15) × 3袋 + **ノンクラ混和液** 2kg × 3本 / 21kgセット
 3回目：NSゼロヨン#10 配合比：粉体 25kg + **ノンクラポリマー混和液** 2kg + NSハイフレックスHF1000 5倍液 調整

STEP 7. サンディング 適時#100~120ペーパー選定使用

STEP 8. 塗装仕上 ~ 完了

アドバイス・エポキシ樹脂の硬化乾燥前にセメントを塗ると、仕上面にカメノコ状の割れが発生する恐れ有
 ・テープ上のセメント塗厚は、最低限の薄塗平滑仕上げとしましょう
 ・ALC下地など吸込が生じる恐れのある場合は下地調整材E（一液微弾性サフェーサー）を塗布してから仕上塗装を行って下さい。

“NONCRA®Aひび割れ補修構法”施工フロー



コンクリート土間・誘発目地・ひび割れの目地ずれ変形に追従する合成目地消しテープ

NONCRA®A-床ひび割れ補修構法 PAT

土間仕上 コンクリート

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライトビームシステム技術センター
Tel.03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯Tel. 090-4518-139

STEP 1. (別途)ひび割れ調査・記録

STEP 2. ひび割れ補修部切削・清掃 ～ 平滑研磨 ～ 清掃 深さ：1～2mm 幅：90mm 乾燥硬化1日以上

コンクリート：“ダイヤモンドポリッシャー” ダイヤモンドディスク90mm、電動吸塵装置使用

凹凸がある場合

モルタル接着増強剤・吸水調整材塗 ～ “ノンクラポリマーセメント”左官金コテ薄塗
1回目：“NSハイフレックスHF1000 4倍液”塗 塗幅：150～200mm 2インチ中毛ローラー使用 150～200g/m²
2回目：“ノンクラポリマーセメント”塗 塗幅：120～150mm
配合比：粉体5kg (NSポリマーミックス#15) + 混和液2kg 加水厳禁
標準使用量：75m/21kgセット

STEP 3. シーリング充填 (防水機能を有する場合のみ)

STEP 4. テープ接着面“NONCRA®シールプライマー#7”塗 幅：切削部分80mm 2インチ中毛ローラー使用

●注意：塗厚がないとテープが密着しにくい！

STEP 5. 接合テープ“NONCRA®A (粘着剤付)”仮止め・ローラー圧着 ～ ステンレス鋼帯両耳“ホットボンド”留付固定

●注意：ステンレス鋼帯にひずみ・シワを残さず、下地に圧着留付！ 残留ひずみはフクレの原因！

STEP 6. テープ上“ボンドエフレックス コーキング”ガン打ち ～ ヘラ厚塗仕上 乾燥硬化1日以上

回転式コーキングガン使用 ～ ゴム&プラスチックヘラ使用
●注意：テープのメッシュとステンレス鋼帯の耳が隠れる程度の厚塗とする

STEP 7. “セメント接着増強剤・吸水調整材”ローラー塗 塗幅：切削部全面 2インチ中毛ローラー使用

NSハイフレックスHF1000 4倍液(原液1+清水3) 150～200g/m²

STEP 8. 切削部“ノンクラポリマーセメント”塗 乾燥硬化1日以上

ノンクラポリマーセメント マゼール2分間攪拌 塗幅：切削部全面
標準使用量：75M / (粉体5kg (NSポリマーミックス#15) × 3袋) + (混和液2kg × 3本) / 21kgセット

STEP 9. 切削部“ノンクラポリマーセメント混和剤”入薄塗セメント仕上 乾燥・養生1日以上

配合比：NSセメント#20 25 + ノンクラポリマーセメント混和液 2 + ハイフレックスHF1000 4倍液 1
1回目：コンクリート切削部ヤセ不陸調整 乾燥・養生1日以上
2回目：コンクリート面不陸調整仕上 乾燥・養生3日以上

以下別途工事

STEP 10. 床補修仕上工事

STEP 11. 清掃・ワックス仕上

仕上塗料・左官メーカー仕様による

●警告 ・施工は、補修を専門とする一級左官技能士または塗装技能工で、完全平滑仕上げを行って下さい
・コーキング材の乾燥硬化前にセメントを塗ると、仕上面にカメノコ割れが発生してしまう

“NONCRA®A-コンクリート床ひび割れ補修構法”施工フロー

